

車上荒らし・車両盗難を即時 携帯電話・パソコンに通報するシステムを発売

ストップのかからない車上荒らし・車両盗難もこれでストップ。セントラル警備保障株式会社(C S P : 東京都新宿区西新宿、福西幸夫社長)は、株式会社N T T ドコモの協力を得て、増え続ける車上荒らし・車両盗難に速やかに対応する通報追跡システムを開発し、ブリヂストン系列のカー用品店で、8月6日から発売しました。

商品名「モバイルガードC S(カーセキュリティ)」は、C S PのG P Sを利用した位置情報サービスと、ブリヂストンF V Sが取扱うカーセキュリティ用品を組み合わせたシステムで、車上荒らし・車両盗難が発生した場合は直ちに、N T T ドコモの通信ネットワークを利用して、車の所有者の携帯電話やパソコンにメールでお知らせします。さらに、要請によって、24時間待機するC S Pのパトロール員が現場に急行し確認することも可能です。

また、盗まれた車の現在位置もリアルタイムで、携帯電話やパソコン上の地図によって知ることが出来ます。

C S Pでは昨年、人・モノ・車が連れ去りや盗難によって異常移動した場合、通報端末とN T T ドコモの通信ネットワークによって、直ちに保護者や持ち主の携帯電話かパソコンにメールで通報するとともに、地図上で位置と移動状況をお知らせする位置情報システム「モバイルガード」を発売しました。

今回発売した「モバイルガードC S」は、車上荒らし・車両盗難という車への被害抑止に特化したシステムです。

車のドア、トランクがこじ開けられたり、ウインドガラスが破られると、車内に取り付けられたカーセキュリティ用品のセンサーが衝撃等をキャッチ。そこからの警報が車内に設置されたC S PのモバイルガードD端末から、N T T ドコモの通信ネットワークを通して、車の所有者の携帯電話、パソコンにメールで届く仕組みです。

ブリヂストンF V Sは、自動車用品販売とカー用品店のチェーン運営を行っています。

同社が取扱うカーセキュリティ用品とC S Pの「モバイルガードC S」の組み合わせによって、車上荒らし・車両盗難の警報が、N T T ドコモの通信ネットワークを利用して即刻、離れた所にいる所有者へ確実に届くことになりました。

このように「モバイルガードC S」は、ブリヂストン系列のカー用品店において取り扱われ、順次利用者拡大を目指します。

「モバイルガードCS」の提供価格は、

1、契約時：加入料金(初期登録手数料)	5,250 円(税込)
2、月 額：基本料金	1,800 円(税込)
3、利用のつどかかる料金	
(1)車両異常の発生通知料金(1回)	52 円(税込)
(2)携帯電話・パソコンによる車両の位置検索料金(1回)	
(3)パトロール員による現場確認(1回)	52 円(税込)
	10,500 円(税込)

史上最悪—昨年の自動車盗難

自動車の盗難件数が平成 15 年一年間で 6 万 4223 件に達し、史上最悪の記録となりました。警察庁の統計によると、自動車盗難件数は平成 8 年から上昇カーブを描き、13 年に 6 万件台を突破して 6 万 3275 件を記録。翌年多少減ったものの、昨年は 13 年を 984 件上回ってワースト記録となりました。

自動車盗難は中部地区で目立ち、中でも愛知県は大阪を上回って全国最多(9865 件、前年比 31.3%増)。首都圏では千葉、神奈川、埼玉県が増加となりました。

車上荒らしの狙いはオーディオ、カーナビ...

社団法人 日本損害保険協会では、自動車盗難防止の一環として、初の車上荒らしについて調査を行いました。

損害保険会社が昨年 11 月に保険金を支払った 2,859 件の車上荒らしを分析しました。

その結果は、被害品の第 1 位はオーディオ(23.8%)で、以下カーナビ(18.4%)、現金・カード(10.0%)、バッグ類(9.9%)となっています。このほか、ドア・鍵穴の破損は 63.3%・1,235 件に上っています。

また、車上荒らしの平均被害額(保険金支払額)は 25 万円(車両本体盗難の平均被害額は 193 万円)でした。車両本体の盗難に比べて、軽自動車とミニバン・ワンボックスクラスなどの被害が多く、RVクラスなどは比較的少ない。日中(9—17 時)に被害に遭う比率が高い。盗難場所は自宅(屋外)が最も多いという特徴が明らかになりました。



クルマのウインドガラスが破られたり、ドアやトランクがこじ開けられたとき、その衝撃をキャッチしたカーセキュリティ(センサー)からの信号を、クルマの持ち主の携帯電話・パソコンにメールで知らせるモバイルガード端末